



## 優秀賞

## 驚きいっぱい！米作り

湯沢市立雄勝小学校 五年 内藤 音乃花

私は、一学期に社会科で米作りの学習をして、とてもたくさん  
のことを学びました。

一番勉強になったのは、米の作り方です。私は、米作りといえ  
ば田植えくらいしか思い浮かびませんでした。でも、田植えをす  
るまでに、とてもたくさんやることのあるのに驚きました。米作  
りは、種もみを選ぶことから始まり、ハウスでなえになるまでずつ  
と育ててから植えるということに、感心しました。

教科書にのっていた農家では、よりよい種もみを選ぶために、  
塩水に種もみを入れ、浮くかしずむか見て選ぶという工夫をして  
いました。さらに、田植えの前に土作りもしていました。私は「田  
んぼに肥料は入れるだろうなあ。」とは思いました。でもその肥  
料は、農家の人が収かくを終えてから手作りしたたい肥だと学ん  
で、とてもびっくりしました。

二つ目に学んだことは、米作りは地域の共同作業だということ  
です。私は、田植えをする機械などはみんな個人で持っている  
思っていました。でも、みんなでお金を出し合って、共同で使っ  
ているとわかりました。さらに機械を入れる倉庫代などもお金を  
出し合い共同で使っていて、私は「農作業は仲良く協力してい  
くことが大切なんだなあ。」と思いました。もう一つ学んだ共同作

業は、農薬をまく作業です。今はヘリを使う人が増えてきて農作  
業が楽になり、農家の人はよくなってきただろうかと考えていた  
ら、ヘリを動かすには資格が必要だと教科書に書いてあり、少し  
ドキッとしました。でも、資格を持つ人が持っていない人の分ま  
ですべてまいてくれると学び、ほっとしました。共同作業がある  
から、米をしつかりおいしく作れるんだなあと思いました。

米作りについて学んだ三つ目のことで、とても考えさせられた  
ことは、米農家のかかえる問題です。クラスのみんなで話し合っ  
たら「米の消費量がへった。」「米農家がへってきた。」など、た  
くさんの意見が出ました。私も確かにパンを食べる人が増えてき  
たし、洋食化も進んで、米をあまり食べていないなと思いました。  
教科書には、米が売れなくて収入がへり、農家をやめる人も出て  
きて、農家のほとんどが六十才以上の高れい者だと書いてありま  
した。あとをつぐ人も少なくなっていて、とても大変だと思いま  
した。しかも「生産調整」といって、米以外の作物を農家に作ら  
せて米の生産量をおさえることもあったそうです。米農家がいな  
くなるのではないかと心配になりました。米農家をやめる人や消  
費量がこれ以上あまりへらないように、私もパンより米をたくさ  
ん食べるようにしたり、もっと米のことを学んだりして、米の問  
題を未来までつなげずに、一年でも早く解決できるように協力し  
ていきたいと思えます。

本当にいろいろなことを知ってびっくりした米作りの学習でし  
た。